

④ 科目名	地理学特殊講義C
④ 科目名(英訳)	Special lecture on Geography C
④ 科目ナンバー	HH334A03
④ 詳細情報	授業外学修時間:週4時間
④ 担当者 (非)は非常勤講師	安本 晋也
④ 単位数	2
④ 開講学年	3年
④ 開講セメスター	春期毎週
④ 対象学科 選択・必修	必修: 選択:HH
④ 他学科受講	
④ 履修順序・履修情報	
④ 担当者及び時間割	【春学期】 安本 晋也:水1-2
④ カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	地理学分野テーマ科目。基礎をふまえた上で特定のテーマについて考察する応用的科目である。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ②:◎ ③-(1):○ ③-(2):○
④ 身につく基礎力／身につく汎用力	傾聴・受信力 クリティカル思考力／専門的知識・技能 思考力 学び続ける能力

④ 授業の主旨 (概要)	本講義は、統計解析とGIS(地理情報システム)を併用することでどのような地理学的分析ができるかを学ぶ。統計解析は、卒業論文の分析にも用いることができる初步的な内容について学習する。必須ではないが、GISの操作についてより深く学ぶ「地域と情報」の講義をあらかじめ受講しておくことが望ましい。	
④ 具体的 達成目標	1)基礎的な統計解析を行い、その結果を地理学的観点から説明することができる。 2)地理関連のデータを収集し、必要な統計解析にかけるための編集・整理をすることができる。	
④	【内容】	GISの活用(地図とGIS、GISの利用、国土数値情報、基盤地図情報)
	1 【授業外学習】	事前:GISデータを公開しているWebサイト等について調べる。 事後:GISの重要性について授業内容を振り返りながら整理する。
	2 【内容】	WebGISとしてのjSTAT MAPの実践、バッファリング、アドレスマッチング
	2 【授業外学習】	事前:jSTAT MAPにユーザー登録し、操作してみる等、予習をする。 事後:WebGISとしてのjSTAT MAPによってできることは何かを整理する。
	3 【内容】	分布と代表値、QGISの導入
	3 【授業外学習】	事前:統計学における分布と代表値について参考文献等で予習する。 事後:分布と代表値について授業内容を振り返りながら整理する。QGISの機能について確認する。
	4 【内容】	分布とばらつきの指標
	4 【授業外学習】	事前:統計学における分布とばらつきの指標について参考文献等で予習する。 事後:分布とばらつきの指標について授業内容を振り返りながら整理する。
	5 【内容】	GISデータの編集とテーブル結合(1)
	5 【授業外学習】	事前:GISデータの編集とテーブル結合について教科書などで予習する。 事後:QGISによるテーブル結合の操作を復習・確認する。
【内容】		GISデータの編集とテーブル結合(2)

授業計画	6	【授業外学習】	事前:GISデータの編集とテーブル結合について教科書などで予習する。 事後:QGISによるテーブル結合の操作を復習・確認する。
	7	【内容】	地図の表現
	【授業外学習】	事前:主題図とは何かを復習し、QGISでの作成方法などを確認する。 事後:様々な操作を実際に試し、主題図の改良を行う。	
	8	【内容】	ここまでまとめと中間課題の説明
	【授業外学習】	事前:これまで学んだ内容について教科書や講義資料等を通じて復習する。 事後:中間課題の内容の確認と取り組み。	
	9	【内容】	地図の比較と相関分析
	【授業外学習】	事前:相関分析とは何かを参考文献等を通じて予習する。 事後:授業で実践した相関分析について復習・確認する。	
	10	【内容】	回帰分析(1)
	【授業外学習】	事前:回帰分析とは何かを参考文献等を通じて予習する。 事後:授業で実践した回帰分析について復習・確認する。	
	11	【内容】	回帰分析(2)
	【授業外学習】	事前:回帰分析とは何かを参考文献等を通じて予習する。 事後:授業で実践した回帰分析について復習・確認する。	
	12	【内容】	推測統計学(1)
	【授業外学習】	事前:推測統計学について参考文献等を通じて予習する。 事後:授業で実践した推測統計学について復習・確認する。	
	13	【内容】	推測統計学(2)
	【授業外学習】	事前:推測統計学について参考文献等を通じて予習する。 事後:授業で実践した推測統計学について復習・確認する。	
	14	【内容】	GISと回帰分析
	【授業外学習】	事前:回帰分析について参考文献等を通じて予習する。 事後:授業で実践したGISを併用した回帰分析について復習・確認する。	
	15	【内容】	ここまでまとめと期末課題の説明
	【授業外学習】	事前:これまで学んだ内容について教科書や講義資料等を通じて復習する。 事後:期末課題の内容の確認と取り組み。	

授業方法	GISと基礎的な統計学に関する講義と、PCを用いたGISソフトおよびExcelによる統計解析の実習。実習においてはそれぞれの進行度に違いがないよう、ひとりひとりの進捗状況を確認しながら指導する。授業中に課される課題のフィードバックの仕方は、適宜授業を通じて伝える予定である。
------	---

成績の評価方法	各回の小課題(30%)、中間課題(30%)、および期末課題(40%)を通じて評価する。
---------	---

成績の評価基準	小課題(30点満点)、中間課題(30点満点)、期末課題(40点満点)で評価する。合計60点以上を合格とする。
---------	--

教科書	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『これで使えるQGIS入門』	金徳謙	ナカニシヤ出版	2,100	978-4-7795-1435-7

参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『QGISの基本と防災活用』	橋本雄一	古今書院		
	2.	『統計・防災・環境情報がひと目でわかる地図の作り方:オープンデータ+QGIS』	朝日孝輔, 大友翔一, 水谷貴行, 山手規裕	技術評論社		
	3.	『新・涙なしの統計学』	D. ロウントリー	新世社		
	4.	『完全独習 統計学入門』	小島寛之	ダイヤモンド社		

 備考		
 関連ホームページ	1. <a href="#">jSTAT MAP</a>	jSTAT MAPのウェブサイト
 メールアドレス	安本 晋也 sih7740@fsc.chubu.ac.jp	
 オフィスアワー		